

日本木材学会中国・四国支部第31回研究発表会（2019年島根）の開催報告

日本木材学会 会員 村上 裕作
(島根県中山間地域研究センター所属)

1 要約

2019年9月11日及び12日、島根県松江市において日本木材学会中国・四国支部第31回研究発表会及び森林バイオマス利用セミナー（森林バイオマス利用学会との共催）が開催された。研究発表会では20件の発表があり、51名が参加した。また、公開シンポジウム「しまね発循環型林業 ー第71回全国植樹祭開催を契機にー」が開かれ、一般も含めて100名を超える参加があった。

2 研究発表会

発表件数：口頭発表15件、展示発表5件 計20件

参加者：51名（公開シンポジウムのみの参加者を除く）

研究発表賞：中国・四国支部では40歳未満の研究者を対象に優れた発表を行った者へ賞を授与する規定が設けられている。下記の3名の方が受賞した。

口頭発表

山本純士氏（高知大学大学院農学専攻）

「製紙薬剤として調製したイオン液体処理パルプの機能」

佐々木裕介氏（鳥取県林業試験場）

「施工途中の雨掛かりを想定した環境下におけるCLTの反り」

展示発表

半澤綾菜氏（鳥取県林業試験場）

「コーンカロリメーターを用いた有節材の燃焼特性」

3 公開シンポジウム

島根県農林水産部次長・前島和弘氏より島根県の循環型林業について、コクーン設計舎代表・坪倉菜水氏及びナガセミキ建築設計事務所代表・永瀬美貴氏より令和2年度に島根県で開催される全国植樹祭にて用いられるお野立所のデザインについて、しまね木造塾前塾長・村上修二氏より木造建築に精通した建築士の育成研修の取り組みについて、それぞれ講演された。また、パネルディスカッションでは林業がもたらす環境及び地域経済への貢献について意見が交わされた。

4 第9回地域功労賞

長年にわたって地域の学術振興、業界への指導等に努力し、大きな功績があった会員2名が下記のとおり表彰された。

中山茂生氏（島根県農林水産部東部農林振興センター出雲事務所）

「島根県産材の強度評価と乾燥技術の開発及びその現場定着」

藤田誠氏（愛媛県農林水産研究所林業研究センター）

「愛媛県における地域材を利用した公共建築物等への技術支援」

5 バイオマス利用セミナー

松江城及び構造用合板製造工場の見学が行われ、28名が参加された。

松江城では、島根県建築士会会長・足立正智氏にご解説いただき、築城の歴史や城の構造、痛んだ柱の周囲を板で囲み鉄輪で締める「包板」という珍しい技法等を学ぶことができた。

構造用合板製造工場の見学では、松江エヌエル工業株式会社・松江工場を同社代表取締役社長・村山尚史氏をはじめとする社員の方々にご案内いただき、スギ、ヒノキ、カラマツ及びダグラスファーを用いた効率的で低環境負荷な合板製造ラインを拝見できた。

写真



口頭発表



展示発表



公開シンポジウム



バイオマス利用セミナー
松江城：天守閣外観



バイオマス利用セミナー
松江城：天守閣の柱にみられる「包板」



バイオマス利用セミナー
松江エヌエル工業発電所：焼却設備外観